



いぶき 第56号

発行者 多田 慎也

編集 患者サービス向上委員会

香川県丸亀市城東町3丁目3番1号

TEL (0877) 23-3111

FAX (0877) 24-1147

季刊誌 年4回発行

<http://www.kagawah.rofuku.go.jp>

高齢化の日本において現在年間約120万人の方が亡くなられています。その中でも多い死因が「がん」であり、生涯で2人に1人ががんにかかり、5人に1人ががんで亡くなっています。しかし最近ではがんになる患者さんの増加の一方、治療の進歩等によりがんで亡くなる率は低下しており、「がんとともに生きる」患者さんの数は増えています。がんの患者さんは病状の進行により様々な「痛み」を持ち、「痛み」には疼痛等の身体的苦痛、不安感等の精神的苦痛、経済的な問題や家庭内の問題等の社会的苦痛、人生の意味、死の恐怖等の霊的な苦痛などがあるとされます。特にがんが治らない状態による全身状態が悪化した、いわゆる終末期に

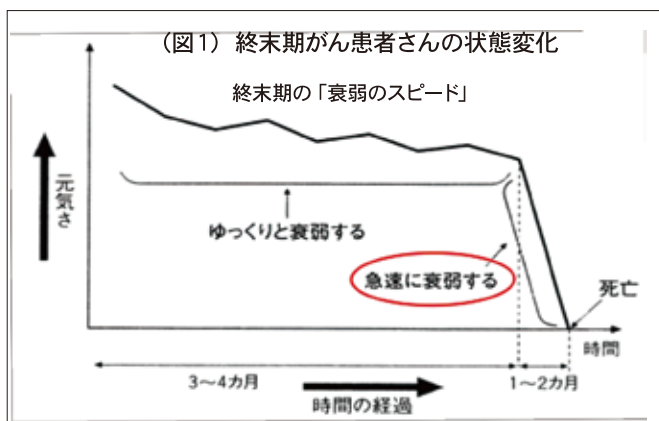


当院における緩和ケアの実際

第二緩和ケア科部長 木下 敏史

は、疼痛、倦怠感、吐き気、不眠、せん妄など様々な症状が襲います。しかしがん患者さんの場合、比較的末期まで全身状態が保たれる場合が多く、余命1〜2ヶ月をきると急速に状態が悪化します。

（図1）この急激な症状変化に本人及び家族はついていけないことが多く、しばしばその対応を困難にさせます。これらに対し緩和ケアは、「患者さんらしさ」を大切にし、



身体的のみならず精神的、社会的、霊的な苦痛を和らげる医療ケアを積極的にを行い、この急速な変化も含め、患者さんと家族を支えていく事を目標にしています。

緩和ケアは症状の緩和が中心となっており、この中で主たるものは「疼痛」の緩和です。疼痛にはモルヒネ等の医療用麻薬を適切に使用し、飲み薬、座剤、貼り薬、必要により注射剤を組み合わせ、積極的に鎮痛をはかる事に行います。状況により放射線治療、神経ブロック等の組み合わせも行います。実際当院ではがんで亡くなる患者さんの2/3の方に医療用麻薬が使用されていました。

また終末期にはいわゆるしんどいといった「がん関連倦怠感」という症状をみる事があります。これはがん患者さんの8〜9割に認め、休息や睡眠でほとんど改善しない、もしくは改善してもごく軽度で、生活の質を著しく損ねます。これらの症状に対し、薬物療法としてステロイドが有効な事があり、当院でも積極的に施行するようにし

ています。

他にも経口摂取不能における全身状態悪化や悪心嘔吐、不眠など様々な症状を呈する事があり、これらに対しても主治医や病棟看護師のみならず、症状緩和の専門の医師（麻酔科、消化器外科、呼吸器内科、精神科等）、看護師、薬剤師、臨床心理士等の多職種から構成される緩和ケアチームも協同して対応できるようにしています。ここ最近では、緩和ケアはがんと診断された早期から抗がん治療と平行して行う方がいいとされており、積極的に早期からの介入を心がけています。

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
安全で安心のより良い
医療と看護を提供します

テーションの設置等で少しずつ整備されつつあります。前述した緩和ケアの大部分が外来、在宅療養で継続可能であり、患者さんや家族の療養場所の希望により、他施設と連携して必要な医療が行えるよ

うになってきました。「何を大切にしたいか」、「その人らしさ」を支えるため、患者さん自身のみならず、家族も含めてケアするようにしています。もし気になることがあればお気軽にご相談ください。

かかりつけ薬局はお決まりですか？

薬剤師 松原 千明

どの医療機関で処方箋をもらった場合でも、同じ薬局でお薬をもらうことをかかりつけ薬局といいます。

レルギーなどを把握しているので安全です。

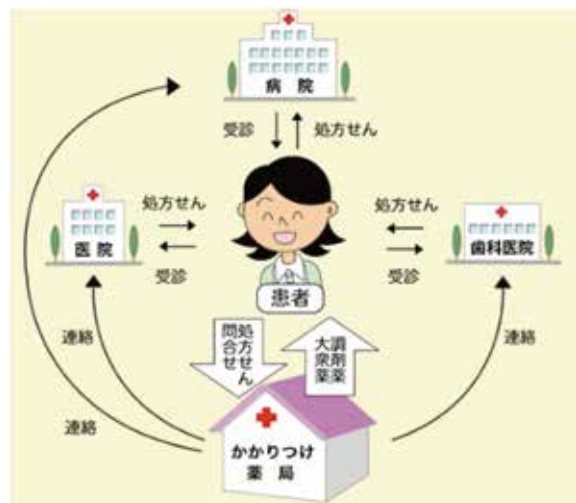
2 副作用防止

いくつかの病院から薬をもらっている場合、同じ薬を服用されていることも少なくありません。重複して処方されて

全国どこの薬局でも受け取ることができます。そこで、いつも行く、かかりつけの薬局を決めておくことで次の様なメリットがあります。

1 薬歴の作成

一人ひとりの薬歴（薬の服用の記録）を作り、管理してくれます。薬の管理はもちろん、副作用や体質、ア



いないかや、薬の飲み合わせを確認することができ、副作用など健康被害を未然に防止することができま

3 服薬指導

薬をもらう時に薬の飲み方や使い方、副作用についてなど説明を受けますが、服用を始めてからの体調変化や、分からないことなどいつでも説明を受けることができます。

4 市販薬の情報提供

市販薬でも副作用が出ることで知られており、服用する際には注意が必要です。処方薬との飲み合わせや市販薬による副作用についての情報提供が受けられます。

最近では後発医薬品（ジェ

「夏バテ」に注意しましょう。

主任栄養士 満岡智恵子

なんだかやる気がでない、朝からだるいなど疲れを感じていませんか？いよいよ夏本番。疲れをためたまにすると「夏バテ」になりかねません。疲れはこじれる前に、休養と睡眠・食事で解消しておくことが大切です。食欲が低下し、十分な栄養がとれなく

1 日3食のバランスを考え、よく噛んで食べる

朝食・昼食を軽くすませるのが習慣になると、ミネラル



・ビタミン等の栄養素が不足しがちになります。また、夕食を夜遅くにたくさん食べると睡眠中に胃腸が休まらず、翌朝まで負担がかかります。よく噛まずに食べることも消化不良をおこしやすくなるため、胃腸が疲れやすくなります。

ビタミンB1・B2をとる

ビタミンB1は糖質からエネルギーがつけられるときに必要な栄養素です。不足すると代謝がうまくできず乳酸が体内に蓄積されるため、だるい・疲れやすいなどの症状がおこりやすくなります。豚肉・魚・豆類・種実類・胚芽付の穀類に多いです。また、水に溶けやすい性質をもつため、汁ごと食べられる調理方法もよいでしょう。

同様にビタミンB2も、タンパク質や脂質・糖質の代謝に関する重要な栄養素で、サポート的な役割を担っています。レバー・肉・魚介・牛乳・乳製品・卵・納豆などに含まれます。

暑い時はアイスクリームや冷たい清涼飲料水などをつい口にしたりします。砂糖のとりすぎは糖質をエネルギーにかえるために必要なビタミンB1をたくさん消耗してしまうことになります。

食欲のないときは、

香味野菜などを利用して

ナクナや山芋、モロヘイヤなどのネバネバ成分「ムチン」は消化吸収を助ける働きがあるといわれています。水分のがぶ飲みは胃液をうすめるので禁物です。生姜やシソ・柑橘類などで味にメリハリをつけ、食欲を増進させるのもよいでしょう。

他にも、カルシウムは筋肉を円滑に動かす働き、鉄は全身に酸素を運搬する働きを持っています。不足すると運動能力が低下して疲れやすくなったりします。きちんと食事を摂り、疲れに負けない体を作りましょう。

昨年末、新聞で労災病院に保育所ができたことを知り、遠い昔、苦勞して子育てした頃を思い出しました。

当時、看護師は結婚すれば退職し、私は共働きの先駆けで、既婚者は、二、三人でした。徳島県出身の私は、縁故もなく、職場以外は知人も少なく、長男誕生の頃、産前、産後の六週間の休暇は子守さん探して必死でした。

ようやく引き受けてくれた人が出勤間際になって断ってきて、途方に暮れながら、次の人を探して走りまわりました。

やれやれと思ったのも束の間、赤ん坊はミルク嫌いになり、口をギューと閉じ、首を振って哺乳ビンを受けつけません。保温容器もない時代、弁当箱に重湯や野菜スープを入れ毎日持って行ったのです。

間もなく体調が悪いと、その人にもやめられ、退職を覚悟しなければと悩んでいたとき、「母が子供好きで預ってもいいと言っています。」外科勤務のTさんからの助け舟です。正に地獄に仏、救いの

神さまに思えました。

子供が大好きで息子も慕っていたのですが、引越越しされやむを得ず、規定では三歳からという市立保育所へ、一カ月不足のところを泣きついて入所させてもらいました。

に年月が過ぎ、二男、三男と預って下さる人もいて、お蔭で仕事を続けることができました。

ある日、小学校の授業参観の時間だけ行かせてもらい、バイクで大急ぎで病院に帰る

連載 4

支えられて

元看護師
寺尾智恵子



3人の男の子を育てました



りました。体はガチガチに固められ身動きできません。当然バイクは乗れず仕事も休み、家事もままならない。そんな時助けてくれたのが友人たちで、今も忘れられない出来事です。

当時、わかば会（枯葉会と揶揄する人も…）と称して、私も含めて七人の仲良しがいて、お互い相談したり助け合っていました。よく気が付くK子さんは、早速、みんなと相談して、都合のいい日を決め、昼食の準備や買物をしてくれました。

ある時、幼稚園へ三男を迎えに行き、知人と出会って話し込み、すっかり時間が過ぎてしまい、K子さんは鍵のかかった家の前で待ちぼうけ。怒りもせず炊事してくれた時のこと、今でも申し訳なく心にかかっています。

このようにして、有形無形、多くの人々に支えられて、五十年以上も看護の道を歩め、今の私があります。

残りの人生、身の丈に合ったお返しをして少しでも人々の役に立ちたいと思っています。

新任医師紹介



副院長(内科部長兼務)
まるかわ まさおみ
丸川 将臣

初めまして。3月1日付で採用になりました内科の丸川将臣と申します。出身は岡山県です。

専門は呼吸器内科で、肺癌、呼吸器感染症、気管支喘息、COPD、間質性肺炎など幅広く診療を行っております。研究面では肺癌の耐性遺伝子、緩和ケア、肺癌の支持療法としての口腔ケア、肺結核、非結核性抗酸菌症などの領域で活動してきました。

また、前病院では臨床研究部長の立場で、全職員に向けて国内・外の学会発表、論文執筆の支援、プレゼンテーションのトレーニングとしての院内研究発表会の開催、さらには臨床研究立案についての指導なども行っておりまして、労災病院におきましても中讃地区の先生方と連携した呼吸器疾患の診療のみならず、臨床研究面でもお手伝い

ができればと考えております。

趣味は読書、英会話、ウォーキングです。今回、単身赴任で参りましたが、持ち込んだ段ボール箱110箱のうち70箱は一般の書籍でした(古本屋に売る気になれず)。英会話の継続は国際学会での発表が主目的ですが、NHKビジネス英会話の杉田敏先生の熱烈なファンでもあります。

学生時代は運動としてテニス、山登り、マラソンなどに凝っておりましたが、今は3kmを30分かけて歩くことを余暇として楽しんでおります。どうぞ宜しくお願いいたします。



循環器内科医師
うえだ ひろお
上枝 弘雄

はじめまして。循環器内科に新しく赴任した上枝弘雄と申します。出身は倉敷市で、

出身大学は鳥取大学です。36歳のときに愛媛県西条市に住んでいて、丸亀から岡山に向かうフェリーに何回か乗った思い出があります。

残念ながら自慢できる趣味はとくにありません。時間があればドライブや散歩、スポーツ観戦などしています。丸亀は自然が多く、のんびりしているのも、これからアウトドアの趣味を見つけようかと思っています。

こちらに赴任する前は、岡山大学病院と岡山医療センターに勤務し、循環器疾患全般の治療を担当していました。胸の違和感や息切れを自覚するようでしたら、いつでも循環器内科外来を受診してください。



循環器内科医師
さいとう えいすけ
齋藤 映介

新任の齋藤映介です。香川県は初めてでまだ慣れないことも多いですが、周囲の方々に恵まれて楽しく仕事させていただいています。

車やドライブが好きで、時間があれば香川探索をしています。これまでは駐車場に屋根があったのですが、引越越しを経て野ざらしになってしまいました。一週間も経つと埃やら何やらで車が大変なことに。洗車スキルがどんどん上昇しています。

他に音楽鑑賞も好きで、最近スピーカーを新調しました。のんびりエイジングしています。これからよろしくお願ひします。



第四外科部長
なかやま ひろし
中山 洋

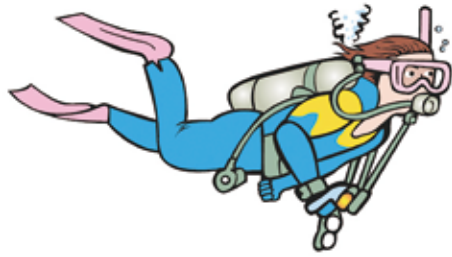
はじめまして。中山と申します。香川の出身です。今までは姫路で長く働いていましたが、ずっと故郷に帰りたい思いがあり、今回やっと香川に帰ってくる事ができました。

海に近い町で育ったので、やはり海の見える風景は落ち着きます。瀬戸内海は穏やかな時が多く、多数の島があり、それを自宅のベランダから眺めるのがとても好きです。この風景を見るために帰りたい気持ちが強かったのかもしれません。

趣味は釣りです。小学生の頃から自転車に釣り竿をアンテナのように突立てて、海に行っていました。大学時代も、帰省しては釣りに行っていました。今は転勤したばかりで落ち着きませんが、また暇を見つけて釣りに行こうと思っています。

早くこの病院のシステムになれて、一人でも多くの患者様のお役に立てるように頑張ろうと思っています。よろしくお願ひいたします。





はじめまして。4月より赴任いたしました外科の浅井芳江です。出身は岡山県ですが、大学の6年間は香川県で過ごしました。大学卒業後は地元岡山で2年間の研修期間を終え、大阪、再度岡山を経て、うどん県香川へ戻って参りました。



外科医師
浅井 芳江

暇ではロードバイクで四国1周を行いました。今度は丸亀ハーフマラソンに出場、ロードバイクでうどん巡りをしようかと思っています。おすすめの場所、うどん屋さんなどあれば教えてください。

まだまだ日々の勤務に慣れるのに精一杯ですが、笑顔を忘れず、地域の皆様のお役に立てるよう、精進していきますので今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



第四整形外科部長
門田 弘明

はじめまして、平成27年4月に香川労災病院に赴任してまいりました整形外科の門田弘明です。

出身は綾歌郡綾川町（当時は綾南町）で、約20年ぶりに香川に戻っての仕事ということになります。幼少時に過ごした場所はやっぱりいつまでも記憶に残っており、ため池でザリガニ釣りをしたことや、空き地で野球やサッカーをしたことなどが、懐かしく思い

出されます。仕事をしていても、「ほんだら、…」とか聞くとなんだか温かく感じます。

休日は家族との時間を大切に考え、子供と遊ぶことができるのも今のうちだけだろうと、一緒に何かして過ごしております。あと、もちろん勉強もしています。整形外科分野の治療も日々進歩しており、勉強したことを日々の診療に生かしていきたいです。

中讃地区の医療に貢献できればと考えております。何卒宜しくお願い申し上げます。



整形外科副部長
高畑 智宏

はじめまして。4月から整形外科に赴任しました高畑智宏といいます。出身は丸亀市ですが、大学入学以降離れていたもので、このたびはじめて故郷で勤務することになりました。久しぶりに住んでみると、香川県は新しい発見が多く、日々楽しんでいきます。

私は整形外科でも特に脊椎・脊髄疾患を中心に診療さ

せていただいています。これまでの経験をいかし、みなさまに安全な医療を提供できるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



整形外科医師
佐藤 直人

初めまして。4月より香川労災病院で勤務させていただきます。出身は福岡県北九州市で、大学卒業までは北九州で、初期研修は札幌で2年を過ごしました。このたび香川労災病院で勤務することになり初めて香川で暮らすことになります。九州出身ですが札幌の気候に慣れたせいか当初は暑さに参っていました。最近少しづつ環境にも慣れてきました。

これまでは「〇亀製麺」を本場讃岐うどんと思っていましたが、丸亀に来て本物の讃岐うどんを食べて、そのおいしさにびっくりし、すでに虜になりつつあります。休日は

お知らせ

公開健康講座

●日時

平成27年6月24日（水）
午後1時30分～午後3時

●会場

香川労災病院
管理棟3階会議室

●演題

胃がんについて

●講師

第四外科部長 中山 洋

●参加 無料

セタバレーコンサート

●日時

平成27年7月1日（水）
午後3時～午後4時

●会場

香川労災病院
1階外来ロビー

ドライブをすることが多いため、いろんなうどん屋をめぐる楽しみが増えました。おすすめのうどん屋があれば教えてください。

整形外科医としては1年目でまだまだ勉強中の身ではありますが、精一杯丸亀の医療に貢献したいと思っております。よろしくお願いいたします。



趣味はゴルフやスポーツ観戦などです。
まだまだ不慣れなところもあるかと思いますが、笑顔を忘れず、地域の皆様のお役に立てるよう、精進していきますので今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



泌尿器科副部長
かわうちけいいちろう
河内啓一郎



耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師
おか あい こ
岡 愛子

4月から勤務させていただいております。耳鼻咽喉科の岡愛子と申します。出身は岡山県で、岡山大学を卒業後倉敷中央病院で初期研修から5年間研修し、香川労災病院へ異動となりました。岡山から人生で初めて外の県に出たので、不安もありますが早く病院に慣れて少しでも貢献できるように頑張りたいと思います。

岡山とは隣の県で身近には感じていましたが、今までなかなか香川に来る機会がなかったもので、これを機に丸亀マスタリーになり友人が来た時にはしっかりと魅力を伝えられるよう勉強しようと思います。

まずは食べ物からとおっており、うどんと骨付き鳥は押さえたのですが、他におすめのお店や食べ物などあれば、教えていただければ助かります。

まだまだ未熟で耳鼻科や他科の先生方にはいろいろ相談



第三放射線診断科部長
とがみ たろう
戸上 太郎

することが多いかと思いますが、患者さんに安全で安心な医療を提供できるよう努力していきますので、今後ともよろしく願っています。

はじめまして。平成27年3月より放射線診断科に勤務しております。戸上太郎と申します。出身は東京で、平成11年に香川医科大学を卒業しました。

趣味は水泳で、学生時代は水泳に明け暮れておりました。香川大学附属病院に勤務している間には、香川県の国体水泳選手として国体に出場することができました。今でも趣味程度にフィットネスクラブで泳ぐのを楽しみにしております。

卒後は香川医科大学附属病院に勤務し、放射線診断（主にCTやMRI検査などの画像をみて病気の診断を行う分野）を6年間、放射線治療（腫瘍に放射線を当てて治療



病理診断科部長
おおはらのぶや
大原 信哉

する分野）を10年間行っており、他科の先生方やコメディカルの方々に助けていただく場面が多く、大変感謝しております。

今後、患者様に安心して医療を受けていただけるよう、日々努力していきたいと思っております。今後ともよろしく願います。

初めまして。4月に赴任しました病理の大原信哉です。

病理や病理医ときいてもイメージしづらいかもしれませんが、手術や検査で採取された組織や細胞について、例えば悪性（がん）か良性か、顕微鏡などで観察・診断し報告することを主な仕事としています。

当院では2階の検査部のフロアの一角に、病理部門があります。直接患者の皆様と接する部署ではありませんが、病理診断を通じて、より良い医療に貢献出来るよう頑張ります。

出身は岡山で、大学や勤務先も岡山が主でした。とはいってもの以前から妻子は香川の住人で、この数年はJRR定期券で瀬戸大橋を通っております。

自宅と仕事場が近くなり、週末は趣味の読書でも、ときいたところですが、子供2名は保育園児で、その相手に体力気力を結構振り絞っています。岡山での「海は南、山が北」の感覚が抜けず、地理感覚は怪しいですが、宇多津や県内の公園など詳しくなりました。

どうぞよろしくお願い致します。



麻酔科副部長
すみよし きみひろ
住吉 公洋

はじめまして。本年4月より麻酔科勤務となりました、住吉 公洋（すみよし きみひろ）と申します。岡山大学を卒業、岡山大学病院麻酔科蘇生科で研修させていただきました、その後には大田記念病院、津山中央病院、三豊総合病院、高知医療センターでも勤務させていただきました。ちなみに、初期研修を福山市の中国中央病院で修了させていただきました。いております。

福山、津山、岡山、香川、高知県と、いろんな地を経験しておりますが、もともと熊本県球磨郡、いわゆる球磨人吉地方と呼ばれるところの出身で、なかなかの田舎ものです。それも含めて、多くの方や多彩な文化に出会い、それぞれの場所のことも多少は通じておりますので、そういった場所のことで話を振っていただいたらなんだか盛り上がるかもしれません。趣味はテニス、ゴルフ、ス

キーなどのスポーツやアウトドア、映画鑑賞や音楽、読書、温泉巡りや旅行と、いろんなことをいつもあげていますが、仕事の忙しさからなかなかできないのが現状です。

また、もともとは理学部物理学科卒業後に横浜ゴムに勤めた経験もあり、クルマやバイクも好きですので、そういった話題があればすぐに割り込むこともあるかと思いが、ご容赦ください。

とにかくまだまだ新参者ですので、いろいろとご教授いただけたら幸いです。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、よろしくお願い致します。



臨床研修医
いわた しんや
井田 真也

はじめまして、初期臨床研修医の井田真也と申します。香川大学での学生生活を終え、この春から当院での研修となりました。

丸亀に引っ越して一ヶ月が経ち、今の生活にもようやく慣れつつあります。仕事にも早く慣れて少しでも皆様のお役に立てればと思います。

ところで皆様は栗林公園をご存知でしょうか。栗林公園は江戸時代に高松に築庭された大名庭園であり、広大な園内には凡そ千四百本もの松が植わっているそうです。また、茶の湯との関わりも深い庭園ときいています。先日は久しぶりに茶席にてお茶を頂き、新緑の風の中爽やかな空気を感じることができました。変わりなく思うに思える日常にも何かを感じ



栗林公園の偃月橋（手前）と掬月亭（奥）

じとることができるような心でありたいと思います。

まとまりない拙文失礼いたしました。

分からないことが多く様々ご迷惑をお掛けするとは思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



臨床研修医
こんどう じろう
近藤 治朗

読者の皆様こんにちは。寝

癖がトレッドマークの近藤治朗です。

出身は愛媛県の弓削島で、しまなみ海道沿いの、橋の架かっている小島であります。愛媛県立今治西高校、岡山大学工学部、医学部を経て香川労災病院にやって参りました。

将来は、実家の近くにある因島総合病院で地域医療に携わって行きたいと思っております。

島のいいお医者さんになれるよう、内科・外科を問わずプライマリケアを勉強させていただきたいと思っております。

さて、休日の過ごし方ですが、時々、健康のために、お城の回りを走っています。ひよっこり寝癖が走っているのを見つけたらお声をお掛けください。

また最近、通町商店街の某うどん屋に出発しています。糖尿病に気をつけて、おでん、お茶、野菜天うどんの順で楽しんでおります。

食つながらで、骨付鳥ですが、苦手にしております。何とか克服したいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



臨床研修医
たけだ やすしげ
竹田 泰茂

今年度より、初期研修医として香川労災病院に勤務させていただいております、竹田泰茂と申します。

生まれは、香川県丸亀市で、18年間を過ごしたあと島根大学へ医学を学びにいきまして、今年からまたこの街に帰ってきました。

幼いころより、身近で心強い存在に感じていたこの病院で医師としての生活をスタートできることを非常にうれしく思っています。医師になり約1ヶ月ほどが過ぎましたが、すべてのことが新鮮で、慣れないことも多いですが、熱心に指導してくださる上司や、

切磋琢磨できる同期の存在があり、非常に充実した生活を送ることができています。

この街は幼いころより過ごした場所ですので、当然たくさんさんの思い出が詰まっていますが、久しぶりにまたこの街で生活することにより、あらためていろいろな魅力が詰まった街だと感じています。

まだまだ未熟ではありますが、地域の方々に、医療を通して役立てるように精一杯がんばって行きたいと思いますので、どうぞよろしく願っています。



臨床研修医
まつおか かつひろ
松岡 克浩

はじめまして。今年度の新

● 労災病院周辺で見られる鳥 ●

コアシサシ

主任薬剤師・吉村正則

夏季に空中から水にダイビングして小魚を捕えている。その様子から鰺刺の名前がつけられた。かつては丸亀でも普通に見られた時期もあったが、今は稀にしか見られない。

初期研修医となった松岡克浩です。

香川生まれ香川育ちで、中学校までは多度津で暮らし、丸亀高校に入学してからは丸亀に住んでいます。

大学は岡山大学ですが、電車通学していたので、丸亀での暮らしはだいぶ長くなりました。

子供のころから本を読むのが好きで、特に雑学系の本をよく読んでいました。そのこともあり、クロスワード等のパズルが得意で、よく本を買っていました。考えている間は他のことを忘れられるので、ストレス解消になります。余裕ができたなら、また本を買って挑戦してみたいと思います。

また、昔プロジェクトXというテレビ番組があったのですが、その番組の主題歌である「地上の星」が大好きで、カラオケなどで歌う機会があれば必ず歌うようにしています。

まだまだ未熟なところばかりですが、香川労災病院の先生方に学び、知識や技術を身につけられるよう頑張っていますので、よろしく願います。



臨床研修医
みつおか たかし
三 溪 雅志

はじめまして。平成27年4月より勤務させていただいております、初期研修医1年目の三溪雅志と申します。出身は広島県福山市で、香川大学を卒業しました。大学入学とともに香川県でお世話になっ

ており、丸亀市には学生時代から何度も遊びにきていました。うどん、骨付き鳥は本当に美味しかったですし、飯野山には何度も登り、讃岐富士の美しさに感動しております。現在は丸亀市に住んでおり、休日は丸亀市や、その周辺の街を探索中です。皆さんのお薦めのうどん屋さん、カフェ、居酒屋などがあれば、是非とも教えて下さい。丸亀にもっとなじんできたいと思っています。

まだまだ未熟ではありますが、同期、上司、他科の先生、他の医療従事者の方々、病院職員の方々、地域の皆さんと力を合わせて、この地域の医療の一助となれますよう、精

一杯努力してまいりたいと思います。どうぞよろしく願います。

編集だより

患者サービス向上委員会

安田 琢也

「いぶき」を手にとっていただきありがとうございます。

今年ももう6月となり梅雨時を迎え、カレンダーは半分めくり終えました。

夏に向けて日ごとに暑さを増す季節となりましたが、梅雨の晴れ間や梅雨明けから熱中症をおこされる方が増えてくるそうなので体調管理にお気をつけください。

さて、当院では今年度も公開健康講座やロビーコンサート等様々な催し物を開催予定です。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

広報誌「いぶき」では皆様にも少しでも役立つ情報をお届けできるよう、ご意見やご要望をお待ちしておりますので、ぜひお寄せいただけたらと思います。